

赤十字支援型自動販売機設置の募集

赤十字支援型自動販売機とは、飲料メーカーのご協力のもと自動販売機の設置者のご厚意により、売上げの一部が赤十字への寄付となる自動販売機です。

赤十字のラッピングを施しており、企業における社会貢献活動の一環として活用いただくことができます。



自販機の設置・管理、
売上金の回収、
赤十字への寄付の振込は
全て業者におまかせ

売上げの一部を
日本赤十字社
群馬県支部へ寄付

設置者様の
イメージUPにも
つながります

設置していただく方も購入していただく方
にも気軽にできる社会貢献活動です。

この自動販売機の収益の一部は
日本赤十字社群馬県支部への
活動資金として寄付されます。

自動販売機だけでなく商品などに「赤十字支援マーク」を使用して売上げの一部をご寄付いただくシステムもございます。

群馬県支部では、ご協力いただける企業や団体を募集しています。
詳しくは、組織振興課(027-254-3636)までお気軽にお問い合わせください。



Facebookみてね

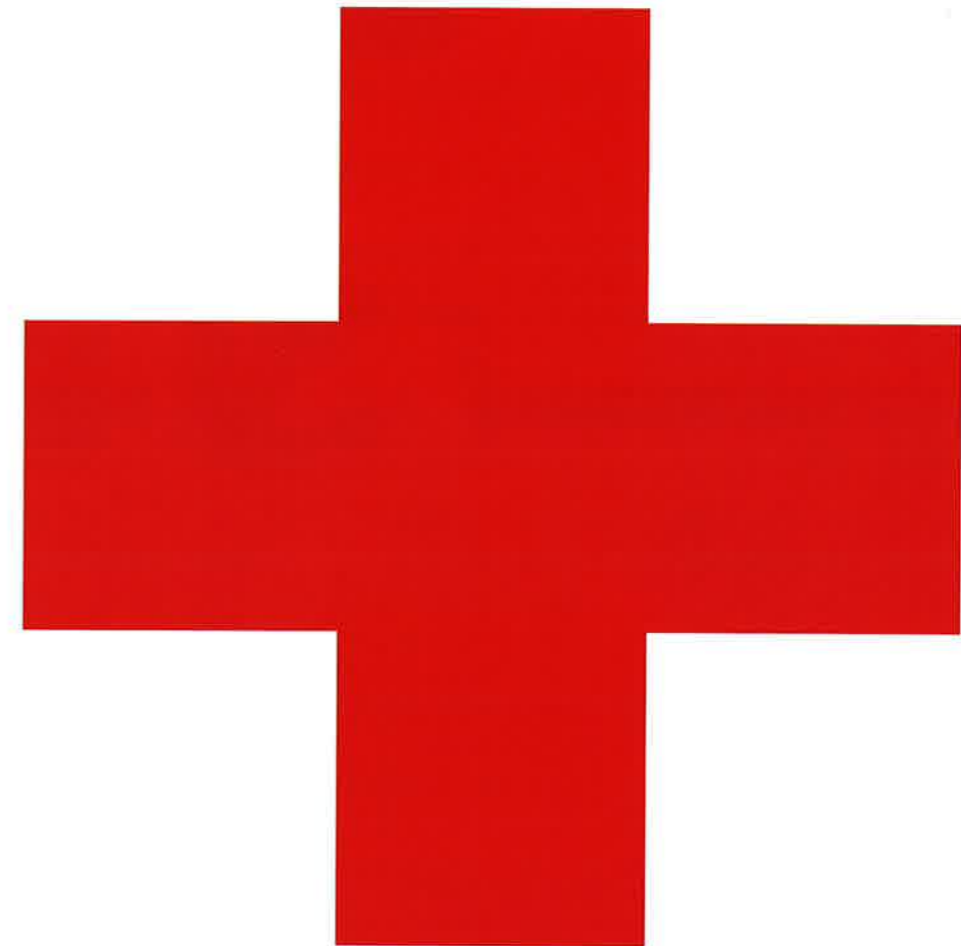
群馬県支部の活動を紹介しています。

日赤群馬 フェイスブック

検索



災害からいのちを守る赤十字



ぐんまの赤十字

人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.

第18号

発行：日本赤十字社群馬県支部 〒371-0833 前橋市光が丘32-10 電話 027-254-3636
URL <http://gunmajrc.dsbsv.net/>

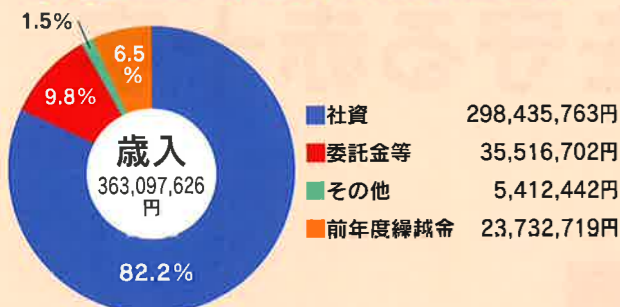
平成29年9月1日

平成28年度事業報告

人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.

平成28年度 決算概要

皆さまからの温かい善意に支えられ、様々な赤十字の活動を展開させていただきました。皆さまからのご支援に対して心からお礼申し上げます。



※赤十字病院、血液センターは施設ごとの特別会計になっており、この決算には含まれません。

災害救護

災害救助法、災害対策基本法による指定公共機関として、日本赤十字社群馬県支部が日本赤十字社法、日本赤十字社救護規則及び日本赤十字社防災業務計画等に基づき、災害救護業務を行っております。



平成28年熊本地震の対応

【DMAT・救護班等の派遣】7班 42名

※DMATとは「災害急性期に活動できる機動性をもったトレーニングを受けた医療チーム」

| No | 派遣期間 | 主な派遣先 | 派遣職員 | 主な活動 |
|-----|-----------------|----------------|-------------------|--------------------------------------|
| 第1班 | 4月16日(土)~19日(火) | 国立病院機構災害医療センター | 前橋赤十字病院3名 | (DMAT) 全国のドクターヘリ運航管理 |
| 第2班 | 4月16日(土)~18日(月) | 熊本県熊本市 | 前橋赤十字病院6名、群馬県支部1名 | (DMAT) 熊本県に参集したドクターヘリ運航調整 |
| 第3班 | 4月20日(水)~25日(月) | 熊本県阿蘇市 | 前橋赤十字病院3名 | (災害医療コーディネーターチーム) 現地の医療(行政や救護班等)の調整等 |
| 第4班 | 4月25日(月)~29日(金) | 熊本県阿蘇郡西原村 | 前橋赤十字病院9名、群馬県支部1名 | (救護班) 救護所診療、巡回診療 |
| 第5班 | 5月5日(木)~9日(月) | 熊本県阿蘇郡西原村 | 原町赤十字病院7名、群馬県支部1名 | (救護班) 救護所診療、巡回診療 |
| 第6班 | 5月9日(月)~15日(日) | 熊本県熊本市 | 原町赤十字病院2名 | (こころのケアコーディネーターチーム) こころのケア班の活動管理、調整等 |
| 第7班 | 5月13日(金)~17日(火) | 熊本県阿蘇郡西原村 | 前橋赤十字病院8名、群馬県支部1名 | (救護班) 巡回診療 |

【支援要員等の派遣】5回 8名

| No | 派遣期間 | 主な派遣先 | 派遣職員 | 主な活動 |
|----|-----------------|----------|----------------|-----------------------|
| 1 | 4月19日(火)~26日(火) | 熊本赤十字病院 | 前橋赤十字病院1名(医師) | 病院支援(救急外来での診療) |
| 2 | 5月1日(日)~5日(木) | 熊本県支部 | 群馬県支部2名 | 熊本県支部災害対策本部の支援 |
| 3 | 5月3日(火)~9日(月) | 熊本赤十字病院 | 前橋赤十字病院2名(看護師) | 病院支援(一般病棟、救急外来での看護業務) |
| 4 | 5月7日(土)~13日(金) | 熊本赤十字病院 | 前橋赤十字病院1名(医師) | 病院支援(救急外来での診療) |
| 5 | 5月24日(火)~26日(金) | 熊本県・福岡県等 | 血液センター2名 | 災害救護車や資機材等の回収 |

国際活動

(1) 緊急援助事業

戦争、国際紛争、自然災害の被害者を対象に行う活動で、本県支部においては、医師1名、放射線技師1名、事務職2名が登録し、万一の事態に備えています。

(2) 開発協力事業

① フィリピン保健医療支援事業

フィリピンでは最低限必要とする保健医療サービスが受けられない地域があり、日本赤十字社はフィリピン赤十字社で実施する地域保健事業の支援を通して、地域保健ボランティア等の人材育成、保健所や給水施設の拡張、学校における衛生教育の推進を行っています。

② ミャンマー救急法普及支援事業

日本赤十字社は、アジア・大洋州地域における災害対策事業の一環として、救急法等の講習支援事業を実施しており、群馬県支部ではその一環としてミャンマー赤十字社が推進する救急法普及事業(救急法普及体制の強化・講習受講者による応急手当の実施)の支援を行っています。



救急法等の講習

赤十字の基本理念である「人道」を実践するため、各種講習を実施しています。

思わぬ事故や病気に対する「救命手当」「応急手当」「子どもの事故防止」をはじめ、水や雪の事故からの「救助」の方法、日常生活における「健康管理」「健康づくり」「高齢者介護」など、一般の方々に知識や技術を身につけていただくため、県内各地で講習を実施しました。

平成28年度講習実施状況

| 講習の種類 | 実施回数 | 受講者数 |
|----------|------|--------|
| 救急法 | 231 | 6,867 |
| 水上安全法 | 8 | 377 |
| 健康生活支援講習 | 56 | 2,006 |
| 幼児安全法 | 64 | 1,438 |
| 雪上安全法 | 4 | 38 |
| 合計 | 363 | 10,726 |



青少年赤十字

青少年赤十字は、人間の生命と尊厳を大切にできる子どもたちを育成することを目的に、学校教育の場で教師を指導者として展開されている赤十字活動で、群馬県においては小学校・中学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校全校の9割以上の561校が加盟し、約15万人の児童・生徒が活動に参加しています。(学校加盟率全国1位)



平成28年度 群馬県青少年赤十字加盟状況

平成29年3月31日現在

| 学校種別 | 県内国公立学校数(A) 児童生徒数(B) | 加盟学校数(C) | メンバー数 | | | 加盟率 学校数(C/A) |
|---------|-------------------------|----------|--------|--------|---------|-----------------|
| | | | 男子 | 女子 | 合計 | |
| 小学校 | 315 103,990 | 313 | 48,169 | 45,879 | 94,048 | 99.4% |
| 中学校 | 168 55,960 | 163 | 28,098 | 26,801 | 54,899 | 97.0% |
| 高等学校 | 81 52,890 | 76 | 2,184 | 2,931 | 5,115 | 93.8% |
| 中等教育学校 | 2 1,512 | 2 | 10 | 15 | 25 | 100.0% |
| 特別支援学校 | 27 2,214 | 6 | 237 | 134 | 371 | 22.2% |
| 幼稚園・保育園 | — | 1 | 10 | 3 | 13 | — |
| 合計 | 593 216,566 | 561 | 78,708 | 75,763 | 154,471 | 94.4% |

※学校数及び児童生徒数は、「平成28年度群馬県学校統計資料」の数値である(ただし在籍者0に分校及び通信制高校は除く)。
※合計欄の加盟率は、幼稚園・保育園のデータを除いて計算している。

赤十字奉仕団

県内では、日赤地区・分区で組織される地域奉仕団(44団)、アマチュア無線や接骨師など特殊技能をもった方々で組織される特殊奉仕団(8団)、勤労青年や大学生等で組織される青年奉仕団(1団)の計53団(10,127名)が、地域等で積極的に活動しています。

